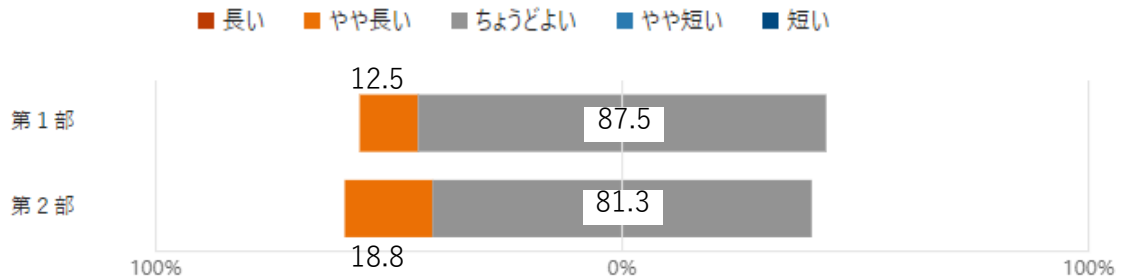


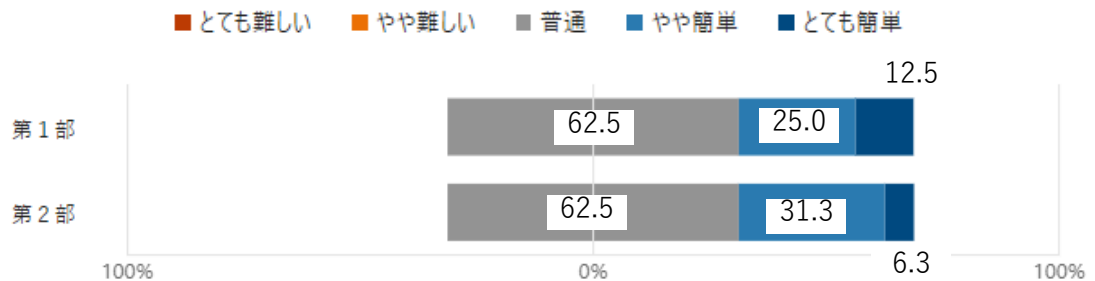
令和6年度九州ブロック協議会 情報伝達訓練（令和6年10月2日（水）開催） 実施後のアンケート結果

調査対象：構成員のうち県・市／調査期間：10月2日～10月9日／回答数：16件（回収率89%）

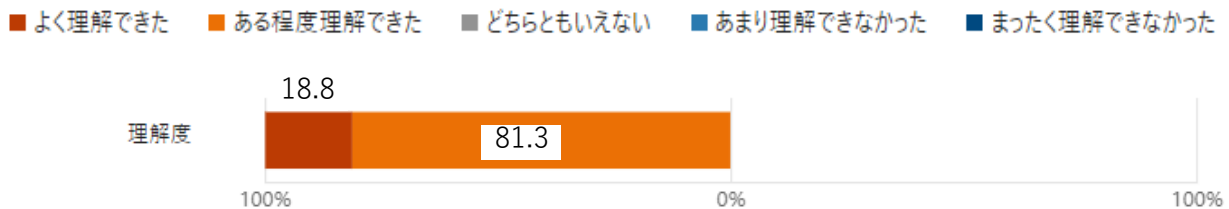
1. 訓練時間の長さについてどのように感じましたか。



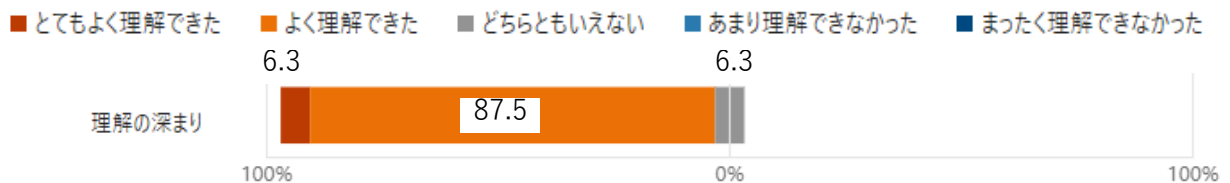
2. 訓練の難易度についてどのように感じましたか。



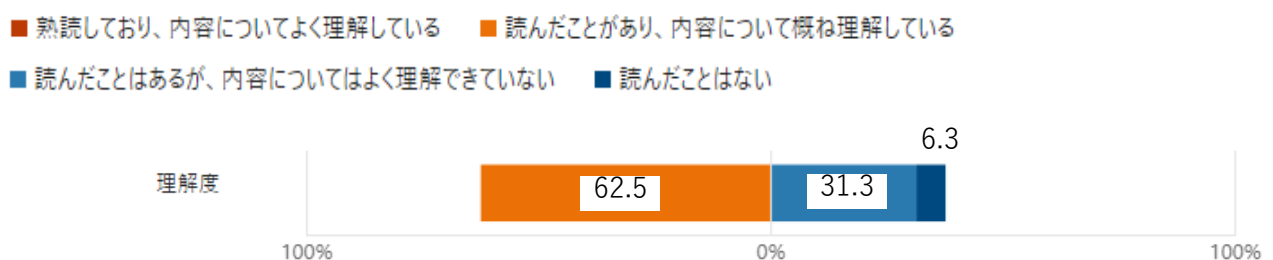
3. 各様式の用途について、どの程度理解が深まったか教えてください。



4. 訓練を経験して、発災後の対応について、どの程度理解が深まったか教えてください。



5. ブロック内連携マニュアルの理解度について教えてください。



6.ほか、訓練についてのご意見や、様式についてのご意見（改善点など）などありましたらご記入ください。

被害状況や支援可能内容などをメールでやりとりする際、報告期限を設けた方がよいかと思いました。

- ① 集計表 A について、「庁舎機能の支障」「災害廃棄物の発生状況」「仮置場の設置状況」欄はプルダウンの方が選択しやすいです。丸囲みはずれる可能性があるのと、緊急時は多少焦りもあるため使用感向上にはプルダウンの方が使い勝手がいいと思いました。
- ② 被災県の立場より、REO 九州から支援幹事県決定の連絡を受けて、被災県が能動的に被災市町村に支援要請照会を行う運用となっていますが、支援幹事県決定連絡後に支援幹事県から連絡が来るのかと待つしまう可能性があります。そこで REO 九州からの支援幹事県決定連絡のメール本文に「被災市町村宛て支援要請照会をしてください」と一文入っていれば動きやすいです（求めすぎかもしれませんが、）。)
- ③ 九州ブロックの支援体制を構築するレベルの大規模災害であれば、人材バンクも発動すると思われます。環境省（本省？）で調整を行うと思いますが、九州ブロックの支援要請と混乱しなければいいなと思いました。人材バンクと九州ブロックへの支援要請は被災県・市町村でどのように使い分ければよろしいでしょうか。

情報共有のフェーズにおいて、実際に発災した際は期限を示したうえで連絡票を送るとより円滑に調整が進むのではないかと感じました。

- ◆環境事務所から災害警戒時に送付される「情報共有フォーマット」があったり、今回のブロック協議会の様式があり、様式が煩雑、通常使用する様式と統一化するなど検討が必要と感じた。
- ◆市町村報告様式、県とりまとめ様式がそれぞれあり、県が単純に市町村報告様式をコピペできない。市町村には県とりまとめ様式を送付し、必要事項を入力してもらう形でいいのでは、様式も減り、とりまとめ作業も簡単になる。
- ◆協議会で施設の受け入れ基準調査を実施している、せっかくなので受け入れ基準調査をベースに施設の受け入れ可否について調査を行ってはどうか。

ブロック内連携マニュアルの勉強もできずにおりましたが、今回の訓練を機会に少し理解することができたと思います。人事異動や業務替えが多い組織もあると思いますので、毎年訓練を実施していただいていること自体が大変意味のあることだと思います。

メールを送る際、開封通知機能を使うとやり取りがスムーズになるのではないかと感じた。

- ① 今回の訓練を通じて、「県外自治体」とのマッチングスキームについては確認ができた。「県内自治体」からの応援の確認については、どのように整理されているのか。
- ② マッチング後の、受援の手続きについて、事前に情報提供があると助かります（宿泊地、駐車場等の手配はどこが行うのか 等）